

指定管理者評価シート

事業名	北3条広場運営管理費	所管課(電話番号)	まちづくり政策局政策計画部都心まちづくり推進室(211-2692)
-----	------------	-----------	-----------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市北3条広場	所在地	札幌市中央区北2条西4丁目及び北3条西4丁目
開設時期	平成26年7月19日	延床面積	約2,800㎡
目的	札幌の都心において、市民等に多様な活動や休憩・滞在ができる場を提供し、都心全体のにぎわいを創出することにより、集客交流の活性化と独自の都市文化の創造を促進し、もって札幌の魅力と活力を高めるとともに、より豊かな市民生活を実現することを目的とする。		
事業概要	広場を使用に供すること。その他広場の設置目的を達成するために必要な事業。		
主要施設	広場		
2 指定管理者			
名称	札幌駅前通まちづくり株式会社		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	<p>非公募</p> <p>非公募の場合、その理由： ■「団体の役割と施設の設置目的・機能が一致する場合など、特定団体が管理することが妥当と認められる」 本市は、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業者・地権者などによる主体的な取組である「エリアマネジメント」を推進している。北3条広場は、市民等に多様な活動や休憩・滞在ができる場を提供し、都心全体のにぎわいを創出することで、集客交流の活性化と独自の都市文化の創造を促進することを目的とし、設置している。 札幌駅前通まちづくり株式会社（以下「まちづくり会社」という。）は、札幌駅前通地区の沿道事業者で構成された札幌駅前通振興会、沿道地権者、地区に隣接した企業、札幌商工会議所、本市を構成員として設立された会社であり、「札幌駅前通地区を将来にわたり魅力ある都心の「顔」として育て、継続的かつ恒常的ににぎわいある地域づくりを進めるとともに、周辺地区と連携を図ることにより相乗効果的にまちづくりの効果を波及させ、ひいては都心全体の活性化を目指す」ことを理念に掲げているこの理念を実現させる目標として、「地下歩行空間、地上部の北3条広場及びユーティリティ空間を活用し、歩行者にとってにぎわいを感じる通りとする」ことなどを掲げており、札幌駅前通地下広場（以下「地下広場」という。）の指定管理者として、地下広場のにぎわいを生み出している。まちづくり会社が目指し、かつ、実践している事業は、前述のエリアマネジメントの概念及び北3条広場の設置目的にも合致している。 ■「他の施設との一体的管理が必要」 北3条広場が面する駅前通は、本市の計画において、「札幌の目抜き通りとしてのにぎわい、多様性、美しさの創出」等が目標に掲げられているとともに、「地上と地下それぞれの魅力があいまってにぎわいを創出するメインストリート」と位置付けられている。これらのことを実現するため、平成23年3月に札幌駅前通地下歩行空間が設置されている。札幌の目抜き通りにふさわしいにぎわいを生み出すためには、地上部のみならず、地下部も一体となったにぎわいの創出が求められおり、北3条広場の指定管理者にもこれを実現する能力が必要である。 地下広場の指定管理者であるまちづくり会社は、地下広場の貸出しサービスの向上やにぎわい創出イベントの実施などにより、地下広場の貸出し度合を示す稼働率が当初の目標をはるかに上回る実績を上げており、都心の回遊性向上やにぎわい創出の一役を担っている。また、地上部のにぎわい創出を図るため、道路空間を活用した取組として、一昨年には沿道事業者や市と連携した札幌駅前通地区活性化検討委員会を設立し、駅前通及び北3条通において、「札幌駅前通地区活性化実験」を地域関係者や市と協働で実施したところである。 以上のことから、駅前通地区において唯一エリアマネジメントを実践し、地域関係者や行政と密接に連携、調整を行うことが可能であり、地下だけにとどまらない地上・地下一体となった取組を実施できるまちづくり会社に北3条広場の運営・管理を行わせることが妥当である。</p>		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	統括管理業務、施設・設備等の維持管理に関する業務、事業の計画及び実施に関する業務、施設の利用等に関する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価																
1 業務の要求水準達成度																			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>北3条広場の行政計画上の位置付けや、重要性を鑑み、①札幌の歴史・文化を象徴する空間としての価値創造の推進、②道庁赤レンガ庁舎の眺望や周辺環境に配慮したデザインの創出、③北3条広場を起点とした新たなまちづくりシステムの構築、④効率的な管理運営の推進を基本方針とした。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>札幌市北3条広場が公の施設であることに鑑み、平等利用及び透明性の確保という方針のもと、市民の公平利用及び管理運営の透明性の確保に注意を払っている。幅広い情報媒体を使ってのプロモーション活動や電話等での簡便な申請手続きを確立することで、利用機会の増進及び均等化を図った。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>札幌市北3条広場が環境に与える影響を十分に考慮し、省エネルギー及び省資源化の推進による温室効果ガスの排出抑制その他、環境への負荷軽減に努めている。使用電力量も必要最低限に抑えた。また社内で環境マネジメントに関する研修を行った。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>地域関係者と連携しながら業務を行うことを重視し、効率的かつ安定した運営ができる組織を確立した。指定管理者として適切な業務運営を実施するために、統括マネージャー1名を責任者に、担当職員を2名配置した体制とし、業務に万全を期した。また駅前通地下広場の管理スタッフの応援も得て、業務を遂行した。またまちづくり活動を担う人材を育てるため、又、公の施設の管理活用を担う組織の社員としてのホスピタリティ向上、業務スキル向上等のため、他地域のエアーマネジメントの事例調査や研修も実施した。</p> <p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>社員に対し各種研修を実施することにより、実務能力の向上を図るとともに専門性向上の取組も行っている。労働関係法令を遵守し社員の労働環境を確保するとともに、定期的なミーティングの開催により社員間の情報交換を行うことで問題点の把握や業務の見直し等を行った。また北3条広場は2つの民間施設に隣接しているため、双方の関係者とは密に連携をとることとした。</p> <p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>複数の見積徴取によるコスト削減及び適切な監督を行う事を基本方針としたうえで、高水準のサービスやノウハウを有する事業者の一部の業務を委託している。各委託業者には月次報告書、完了報告を提出してもらい、履行確認をしている。</p>	<p>基本方針を踏まえ、札幌市北3条広場において適切な運営ができた。</p> <p>市民の平等利用は適切に確保できた。利用についてのPRを今後の課題としていきたい。</p> <p>全社員が常に節電や省資源化の意識を持って業務に当たることができた。</p> <p>官公庁や地域関係者との連携や調整が適切に図れた。</p> <p>職員の専門性の向上は段階的に進んでいる。社内ミーティングも適切に行われている。</p> <p>外部への業務委託は手続き及び指導監督とも適切に行った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">○基本方針に則り、適切に運営されている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○基本方針として、北3条広場を起点としたまちづくりについて定めており、エアーマネジメント組織として有する地域内のネットワークを活かし、地域関係者や広場に隣接するビル関係者と密に連携しながら管理運営を行ったことは、施設の設置目的の達成に大きく寄与するものであり、高く評価できる。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○苦情や問合せについては丁寧な対応を行っており、札幌市に直接苦情が入ることがほとんどなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	○基本方針に則り、適切に運営されている。				○基本方針として、北3条広場を起点としたまちづくりについて定めており、エアーマネジメント組織として有する地域内のネットワークを活かし、地域関係者や広場に隣接するビル関係者と密に連携しながら管理運営を行ったことは、施設の設置目的の達成に大きく寄与するものであり、高く評価できる。				○苦情や問合せについては丁寧な対応を行っており、札幌市に直接苦情が入ることがほとんどなかった。			
A	B	C	D																
○基本方針に則り、適切に運営されている。																			
○基本方針として、北3条広場を起点としたまちづくりについて定めており、エアーマネジメント組織として有する地域内のネットワークを活かし、地域関係者や広場に隣接するビル関係者と密に連携しながら管理運営を行ったことは、施設の設置目的の達成に大きく寄与するものであり、高く評価できる。																			
○苦情や問合せについては丁寧な対応を行っており、札幌市に直接苦情が入ることがほとんどなかった。																			

	<p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)</p> <table border="1" data-bbox="471 244 1091 728"> <thead> <tr> <th>開催回</th> <th colspan="2">協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6/10</td> <td>・運営状況について</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>9/12</td> <td>・広場稼働状況について</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>12/12</td> <td>・運営状況について</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>3/27</td> <td>・運営状況について ・広場利用者からのアンケート結果</td> </tr> </tbody> </table> <p><協議会メンバー> 札幌市まちづくり政策局総合交通計画部都市交通課、札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室、札幌駅前通まちづくり株式会社</p> <p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、税理士による外部チェックを導入している。 現金等の取扱いについては、現金取扱規定を整備しているが、利用料金の金額が高いため、利用者には振込対応をお願いしている。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、全社員に周知している。回答内容を全社員で共有している。問合せについては、3日以内に返答するようにしている。電話によるものについては、受け手が「苦情ノート」に回答内容も含めて記入し、情報共有している。 また問合せ・要望については、月次報告書で広場管理者に報告し、札幌市関係部局にスムーズに引継ぐことができた。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>札幌市の業務検査は、12月及び3月に実施されたが改善事項は特になかった。指定管理業務に関する帳簿等を整備した。 広場利用者アンケートを実施し、要望、意見については記録を作成し、広場の利用促進等に役立てた。</p>	開催回	協議・報告内容		第1回	6/10	・運営状況について	第2回	9/12	・広場稼働状況について	第3回	12/12	・運営状況について	第4回	3/27	・運営状況について ・広場利用者からのアンケート結果	<p>苦情や問い合わせに対しては適切に対応できた。</p> <p>いずれも適切に行った。</p>	
開催回	協議・報告内容																	
第1回	6/10	・運営状況について																
第2回	9/12	・広場稼働状況について																
第3回	12/12	・運営状況について																
第4回	3/27	・運営状況について ・広場利用者からのアンケート結果																
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>施設の供用時間が9時～21時と長時間に及ぶこと、イベントの開催や設営・撤去等で不規則な勤務時間や土日祝日勤務の必要があることから、社員においては変形労働時間制及び変形休日制を適用し、業務の実行に支障のないよう、効率的かつ柔軟な勤務形態とした。勤務条件等については、労働基準法及び当社就業規則等を遵守し、社員それぞれの希望に応じて、「仕事」と、子育て地域活動等の「OFFの時間」の調和がはかれる状態を考慮した。</p>	<p>労働関係法令を遵守するとともに、ワーク・ライフ・バランスを意識した。</p>	<table border="1" data-bbox="1361 1742 1560 1773"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>○職員間のコミュニケーションやワークライフバランスの推進を図ることができていた。</p>	A	B	C	D											
A	B	C	D															

<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>利用者の安全については、事前に打合せを行い、図面及び作業届出書を提出してもらった。また適宜現場確認を行った。さらに、関係各部署や近隣事業者と調整を行い、利用がスムーズに行われるように心がけた。 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。 拾得物取り扱いについては、一定期間まち会社で保管した後、最寄りの交番に届けた。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>毎日の清掃時に、チェックをし、異常があれば関係各部署に報告をした。また月2回電気設備の点検を行い、適切な状況で利用いただけるように心がけた。 清掃、電気の保守点検、除排雪については第三者委託により実施した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>自衛消防訓練:3月8日(木)に実施(札幌駅前通地区防災協議会主催)。 チ・カ・ホ防災センターを中心とした情報収集や接続ビルへの通報連絡および避難誘導訓練を実施により、非常時の体制再確認を行った。また地上部分の点検も同時に行った。 また緊急時対応マニュアルを基に、社内研修も実施した。また消火器も社内に備え、広場での異常時にはすぐに持ち出しできる体制とした。</p>	<p>利用者の安全のため、適切な運営を行った。</p> <p>外部に委託しているものも含め適切な維持管理ができた。</p> <p>計画通り適切に実施した。</p>	A	B	C	D
			<p>○施設の維持管理については、良好に行われている。</p> <p>○利用者の安全面については、図面等を確認するとともに現場確認を行っていた。</p> <p>○要求水準(1回/日)を超える頻度(2回/日)で清掃を実施しており、景観を重視する本施設において、より清潔な状況が保たれていることは高く評価できる。また、清掃員が景観に配慮した制服を着用するとともに、観光MAP等を携帯するなど、工夫が見られた。</p>			

(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 周辺施設・事業者と連携した札幌の魅力・活力向上に関する業務</p> <p>・「創造都市さっぽろ」を推進するようなメディアアートを「当施設」及び周辺施設や駅前通に展開し、周辺一帯をメディアアートの発信基地とすることで、シティプロモートにつなげるよう努めた。この企画については札幌市の関係部署と連携した。(さっぽろユキテラス2018)</p> <p>▽ イチョウ並木及び木塊舗装等の歴史的資産の活用に関する業務</p> <p>イチョウ並木及び木塊舗装等は、日本土木学会の土木遺産に認定されており、これらの歴史的資産を広く広報する必要があります。これらについては、活用パンフレットやインターネット上で積極的な情報発信等を実施した。</p> <p>▽ その他広場の設置目的を達成するために必要な業務</p> <p>広場利用に向けての協議・調整は、我々も利用者とともにイベントをつくりあげていくことモットーに、丁寧に実施した。広場の使用承認申請書の提出後、具体的な内容を確認するため、イベント実施概要・レイアウトの他、予め定める広場の利用基準に合致しているかを確認するチェックシートも提出してもらい、利用して行く流れとした。広場の価値向上を高めるために必須であると考えている。</p>	<p>広場の設置目的を達成するための事業を効果的に運営した。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>○広場の設置目的を達成するために、企画を実施するとともに、一般の利用にあたっては、施設の設置目的や景観に十分配慮した運営がなされるよう、利用者との連携を密にして、イベント等の実施に向けた調整を進めていた。</p> <p>○特にイベント時の設置物やそのレイアウトを工夫することで、赤れんが庁舎までの眺望を確保するなどの取組を通じ、広場空間活用の目指すべき方向性の確保に継続的に努めている点については、高く評価できる。</p> <p>○居心地の良い落ち着いた雰囲気や、景観を活かした札幌の美しさを感じられる空間の創出に努めていることも広場の価値の向上に貢献している。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>○広場の設置目的を達成するために、企画を実施するとともに、一般の利用にあたっては、施設の設置目的や景観に十分配慮した運営がなされるよう、利用者との連携を密にして、イベント等の実施に向けた調整を進めていた。</p> <p>○特にイベント時の設置物やそのレイアウトを工夫することで、赤れんが庁舎までの眺望を確保するなどの取組を通じ、広場空間活用の目指すべき方向性の確保に継続的に努めている点については、高く評価できる。</p> <p>○居心地の良い落ち着いた雰囲気や、景観を活かした札幌の美しさを感じられる空間の創出に努めていることも広場の価値の向上に貢献している。</p>																																		
A	B	C	D																																							
<p>○広場の設置目的を達成するために、企画を実施するとともに、一般の利用にあたっては、施設の設置目的や景観に十分配慮した運営がなされるよう、利用者との連携を密にして、イベント等の実施に向けた調整を進めていた。</p> <p>○特にイベント時の設置物やそのレイアウトを工夫することで、赤れんが庁舎までの眺望を確保するなどの取組を通じ、広場空間活用の目指すべき方向性の確保に継続的に努めている点については、高く評価できる。</p> <p>○居心地の良い落ち着いた雰囲気や、景観を活かした札幌の美しさを感じられる空間の創出に努めていることも広場の価値の向上に貢献している。</p>																																										
(5)施設利用に関する業務	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H28実績</th> <th>H29計画</th> <th>H29実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全面</td> <td>日数</td> <td>58</td> <td>32</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">半面</td> <td>日数</td> <td>48</td> <td>56</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免15件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>・ホームページについては、お問い合わせのあるイベントスケジュールの充実化を図った。</p> <p>・北3条広場が利用されている様子をマスコミを通じて発信することで、北3条広場の魅力発信に努めた。</p>			H28実績	H29計画	H29実績	全面	日数	58	32	40	人数(人)	/	/	/	稼働率(%)	/	/	/	半面	日数	48	56	31	人数(人)	/	/	/	稼働率(%)	/	/	/	<p>毎年利用していただけるリピーターが増えたことから、利用満足度について高い水準を維持できていると考える。</p> <p>HPにおける情報提供の充実化やマスコミと連携したPRについては、引き続き行っていく。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>○清掃等の日常管理や、イベント実施に係るコーディネートを積極的に行うことで、利用者の満足度が高まり、リピーターが増えている。また、積極的に自主事業を実施することで、都心部にぎわい創出に大きく寄与したと高く評価できる。</p> <p>○利用促進については、マスコミと連携し、広場のPRに努めていた。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>○清掃等の日常管理や、イベント実施に係るコーディネートを積極的に行うことで、利用者の満足度が高まり、リピーターが増えている。また、積極的に自主事業を実施することで、都心部にぎわい創出に大きく寄与したと高く評価できる。</p> <p>○利用促進については、マスコミと連携し、広場のPRに努めていた。</p>			
		H28実績	H29計画	H29実績																																						
全面	日数	58	32	40																																						
	人数(人)	/	/	/																																						
	稼働率(%)	/	/	/																																						
半面	日数	48	56	31																																						
	人数(人)	/	/	/																																						
	稼働率(%)	/	/	/																																						
A	B	C	D																																							
<p>○清掃等の日常管理や、イベント実施に係るコーディネートを積極的に行うことで、利用者の満足度が高まり、リピーターが増えている。また、積極的に自主事業を実施することで、都心部にぎわい創出に大きく寄与したと高く評価できる。</p> <p>○利用促進については、マスコミと連携し、広場のPRに努めていた。</p>																																										

(6)付随業務	▽ 広報業務	HPはイベントや広場の情報について、広く周知できるようにした。	A	B	C	D
	<ul style="list-style-type: none"> ・HPのコンテンツ充実に取り組んでいる。(平成29年度閲覧数:120,000件。1日あたりの平均閲覧数:320件) ・新聞社に協力いただき、北3条広場で開催されるイベントのうち公益性のあるイベントについては、情報を新聞に掲載していただいている。(毎週金曜日夕刊)また情報提供媒体(テレビ局、ラジオ局など)を増加させた。 ・施設への視察についても積極的に受け入れた。 		<p>○北3条広場のHPを制作し、イベントの広報に積極的に取り組んでいた。</p> <p>○OHPのイベント情報は随時更新されており、新聞にも定期的に掲載されるなど、様々な媒体を用い、要求水準以上に積極的な情報提供を行っている点については、高く評価できる。</p>			
	▽ 引継ぎ業務					
	特になし					

2 自主事業その他		A	B	C	D
▽ 自主事業	<p>広場における撮影事業 広場は、札幌のメインストリートである札幌駅前通と歴史的観光資源である北海道庁赤れんが庁舎の間に位置しており、札幌で初めて舗装道路が整備された歴史的価値の高い場所で、この魅力ある場所を日々発信するため、協力いただく北海道放送株式会社に撮影場所を提供。広場のイベントを適時紹介いただいた。</p> <p>ロケーション撮影事業 広場は、札幌のメインストリートである札幌駅前通と歴史的観光資源である北海道庁赤れんが庁舎の間に位置しており、札幌で初めて舗装道路が整備された歴史的価値の高い場所です。広場での商業利用撮影の希望は多いものの、短時間での撮影であることから、広場の利用料金を払えないパターンも多くみられたため、こうした商業利用の撮影については料金を設定した。利用料：158,760円</p> <p>チカチカ☆パフォーマンススポット(アカブラ版) 年2回のオーディションにより選定したアーティストに、地下広場内の北3条交差点広場、札幌駅側イベントスペースのほか、「当施設」をパフォーマンス披露の場として提供し、大道芸、ダンス、音楽などを演じてもらった。</p> <p>利用者の利便性向上事業(電源設備整備) 広場は、今後多種多様なイベントが入ることが想定されることから、イベント業者の利便性を高める上で、電源設備を設置し、利用者から電源設備利用料を徴収した。利用料：805,430円</p> <p>SAPPORO Flower Carpet 2017 サッポロフラワーカーペットは、広場の魅力向上を目的として2014年度から開催しています。今年は520名以上のボランティアの参加により、生花や自然素材を用いて一般の参加者とともにフラワーカーペットが完成しました。また北3条広場と札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ)を会場にすることで、地上・地下の連動を意識した企画となった。期間中雨天続きでありましたが、夜間のライトアップを実施したこともあり、来場者数は86,000人となった。</p> <p>HBC赤れんがプレミアムフェスト このイベントは北海道産の食材にこだわった料理と素敵な音楽でプレミアムな夏のひと時を楽しもうというもので、テレビ、ラジオの特別番組やレギュラー番組でイベントの見どころを発信。飲食ブースで提供される北海道の味覚を使ったメニューが人気を集め、実力派アーティストをそろえたライブも好評で、会場の様子がテレビで放映されるなど、道内各地へも広められた。昨年度同様、景観に配慮したデザインのブースで統一し、広場のコンセプトに沿った演出が行われた。来場者数は4日間で63,000人となり、近隣のビルへの来場者も増加させる企画となった。</p> <p>さっぽろ八月祭2017 今年度も、アカブラの一面に大風呂敷を敷き詰め、音楽家大友良英さん率いる「さっぽろ八月祭スペシャルビッグバンド」による生演奏で楽しむ盆踊りのほか、「オーケストラSAPPORO!」と呼ばれる即興市民オーケストラを実施。また子ども向けのコンテンツとして「子ども盆踊り」も実施するなど、老若男女楽しめる企画となった。来場者は2日間で21,000人(昨年度19,000人)となり、アカブラの夏の企画として定着した。</p>	沿道事業者等と連携し、にぎわい創出できるようなイベントを多数実施した。今後共、利用者の参考となるような企画制作に努めていきたい。			<p>○指定管理者自ら企画、運営するさまざまな事業により、広場の設置目的である、「都心全体のにぎわい創出、集客交流の活性化と独自の都市文化の創造を促進し、もって札幌の魅力と活力」を高めることに、大きく貢献している。</p> <p>○特に、フラワーカーペットについては、企画から、沿道事業者や市等とともに作り上げ、500人以上の制作ボランティアの募集受付や当日の運営を滞りなく行っていた。当イベントは様々な媒体で取り上げられ、8万人以上の来場者があり、広場を広く周知できたとともに、その魅力向上に大きく貢献したものと考えられる。</p>

第3回アカプラ会社対抗のど自慢大会

札幌駅前通地区にオフィスを設置する企業などが参加する会社対抗のど自慢大会が開催され、参加企業は15組となった。各企業ともに趣向を凝らした会社の団結力を見せつけるような催しとなり、来場者は、合計500人となり、周辺団体との連携や地域との交流を深められ、地域のコミュニティの発展にも貢献していけるような企画となった。

札幌ジャズアンビシャス スマッシュライブ！

札幌を拠点に活動するプロミュージシャンによるフル編成ビッグバンド「札幌ジャズアンビシャス」。今回は個々のメンバーにスポットを当て、コンボ編成による無料のライブを開催。青空に響き渡る空間を演出した。

オータムスイーツガーデンSAPPORO

「さっぽろスイーツ」の魅力を発信する機会をつくり、札幌市民や来街者、札幌駅前通地区で働くビジネスパーソンがこの会場でより楽しんでいただく機会を創出。また、大通公園で開催されている「オータムフェスト」と「当イベント」が連携することで、札幌都心部のまち歩き、回遊性の向上につなげた。来場者は9日間で300,000人となり、アカプラの秋の企画の中では一番の動員数となった。

アカプライルミネーション2017-2018

アカプラにある北海道に現存する中で最古の街路樹である29本のイチョウ並木を光で演出し、3色のLEDを用いたイルミネーションを設置するほか、色が変わるスポットライトなどを設置し、光の変化を楽しめるものとした。初めての試みとして地方誘致キャンペーン『青の洞窟 特別開催地決定PROJECT』が実施され、投票の結果、2018年は札幌で『青の洞窟 SAPPORO』の開催が決定。期間中通常のイルミネーションから、青一色のイルミネーションへと変貌し、人々の目を楽しませていた。

さっぽろユキテラス2018

「さっぽろユキテラス」はアカプラを舞台に、札幌の特徴の一つでもある“雪と光”をモチーフにして冬の魅力を発信するプロジェクトです。

アカプラにインタラクティブな体験型の仕掛けを施した雪山「スノーマウンテン」を登場させ、雪山内部に掘られたかまくらでの作品展示など、雪国ならではの空間を体験できたほか、日没後は冬の星座をかたどった光のバルーンが広場全体を照らした。また赤れんがアイステラスというアイスパーも出現し、9日間で2万人以上の市民や観光客に楽しんでいただけた。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

業務委託やイベント実施をする場合には、可能な限り市内企業や団体に協力を得ている。

3 利用者の満足度		利用者アンケートを実施し、意見・要望に基づき、設備の改善を行った。	A B C D
▽ 利用者アンケートの結果			
実施方法	北3条広場利用者を対象とし、広場利用者の満足度や意見、要望について調査するもの。 ①広場の利用者(主催側、設営側)に利用後にアンケートを送付する。 ②利用2週間後にアンケートを回収する。		○回答があった分については、概ね高い評価が得られており、総合満足度及び接遇に関する満足度については、要求水準の70%を上回る80%以上から高い評価を得られた。 ○今後も継続してアンケートを実施し、より良い運営に生かしてほしい。
結果概要	1:29年6月～30年3月に実施し、12件の回答があった。 ▽利用の効果について、とても高い/高いと回答したのは11件。 ▽利用の効果について、満足していないと回答したのは0件。 ▽使いやすさについて、とても使いやすい/使いやすいと回答したのは6件。使いにくいと答えたのは3件。 ▽当施設の職員の接遇について、大変良かった、まあ良かったと回答したのは、11件(接遇に関する満足度91.7%) ▽総合満足度について、とても満足/まあ満足と回答したのは10件(83.3%)		
利用者からの意見・要望とその対応	・地代の軽減措置があるとありがたい。 ・200V電源が取れるとありがたい。 ・給排水や電気設備がもっと利用しやすいといい。 →いずれも今後の参考としたい。		

4 収支状況		利用できる場所という周知期間がもう少し必要である。指定管理事業と自主事業は赤字だが、アカプラの賑わい創出のために必要であると考えている。ただ、なお一層の経費の縮減にも努めていきたい。	A B C D
▽ 収支 (千円)			
項目	H29計画	H29決算	差
収入	26,883	11,135	▲ 15,748
指定管理業務収入	26,049	10,171	▲ 15,878
指定管理費	2,305	2,305	0
利用料金	23,744	7,866	▲ 15,878
その他	0	0	0
自主事業収入	834	964	130
支出	33,410	26,165	▲ 7,245
指定管理業務支出	25,934	22,185	▲ 3,749
自主事業支出	7,476	3,980	▲ 3,496
収入-支出	▲ 6,527	▲ 15,030	▲ 8,503
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 6,527	▲ 15,030	▲ 8,503
▽ 説明			○H26年度途中から供用開始し、通年稼働としては3年度目を迎える中で、清掃等の日常管理や、イベント実施に係るコーディネートを積極的に行うことで、利用者の満足度が高まり、リピーターが定着してきている。 一方で、原則先着順で利用できる場所、利用料が減額となる行政が関わる事業や非営利事業の利用が多く、利用料収入が伸び悩んだが、積極的に広報や自主事業を行うことで、今後の一般利用の増加に繋げ、供用開始から長期的な視点で収支の安定を図っていることは評価できる。
<p>▽利用料収入は、計画よりも15,000千円落ちている。その要因として、夏場は順調に稼働したものの、減額対象のイベントが多かったことによる。また冬季期間の利用料収入がなかったことによる。</p> <p>▽一方、日常にかかる清掃費や冬期の除排雪費の費用はかかっている。業務量を勘案し、できる限り人工の削減はしたものの赤字となった。</p> <p>▽自主事業については、当初計画より費用が削減されているが、これは地域の企業や関係各所と連携して事業を実施したため。</p> <p>▽赤字部分については、指定管理及び自主事業業務以外の会社全体業務で補填している。法人税についても同様。</p>			

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持	/	適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。	/	適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
「札幌市北3条広場」の指定管理者として、その管理・運営を行った。地域に関わる自主事業を実施し、賑わいづくりや市民に喜ばれるアート企画、イベント等を自主的に実施し、市民に喜んでもらうことができた。貸出については、道庁赤れんが庁舎前の景観を大切にすることなどのコンセプトに基づき、利用者へサービスを提供したりしたが、冬季期間の貸出しがほぼなかったため、当初予定よりは利用料収入が下回ってしまった。次年度以降の課題としたい。	札幌駅前通地下広場と札幌市北3条広場が一体となって賑わいの創出を図ることが求められることから、二つの施設の管理者として地下・地上両方使用していただけるような利用促進を図っていきたい。駅前通のビルオーナーや商業テナント等と連携し、賑わいを創出するイベントを実施したい。また、当社は駅前通地区のエリアマネジメントを実施する会社であることから、地下歩行空間や北3条広場での賑わいづくりをきっかけにまちづくり活動に繋げていきたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
法令及び業務仕様書に従い、適切な施設運営を行っている。施設環境を清潔に保つために丁寧な清掃を行ったり、イベント等の実施にあたっては、設置物やレイアウト等について、利用者と密な調整を行うなど、空間の質の確保や景観に十分に配慮して、広場の管理運営にあっていた。また、広場の特性や周辺環境、来街者の安全に配慮した運営を行うため、策定した活用のガイドラインに沿って、適切な運営に努めたと評価できる。	平成30年度については、引き続き、広場の魅力を高められるよう、コンセプトに合ったイベントの誘致や自主事業の実施により、広場の目標像を広く共有するとともに、居心地の良い落ち着いた雰囲気や、景観を活かした札幌の美しさを感じられる空間の創出のため、適切な維持管理を継続していくことが求められる。